

株式会社西村川魚店

ミッション（使命）『旨いウナギでココロもカラダもHappyに！』

バリュー（価値観）『職人であれ！エンターテイナーであれ！』

ビジョン（理想像）『人をつくり、食卓をつくる。
食卓から地域を元気に！』



社名：株式会社西村川魚店
住所：神戸市長田区久保町 5-1-1
アスタくにつか 3 番館内 006-2
役職：代表取締役
氏名：西村 大輔
所属：兵庫支部
同友会入会：2015 年 2 月

■事業内容及び企業の沿革

事業内容

鰻蒲焼の店舗販売、個人・法人向け宅配事業、鰻加工品の製造・卸

沿革

祖父の西村輝一氏が昭和37年に神戸・長田に「西村川魚店」を開業。

平成21年に西村大輔氏が三代目に就任。折込チラシやDMなどの販促活動に注力し、売上を拡大。地域の一般の消費者だけでなく、企業向けの接待弁当のデリバリーなども行い、2019年には飲食店もオープン。

アルバイトからの社員登用が多く平成28年に2名、平成29年に1名、平成31年に2名採用（内4名が新卒）。

現在、社員4名、パート・アルバイト10名体制。

■経営理念成文化のきっかけ

先輩経営者からの勧めで成文化セミナーへ参加。しかし、経営指針の必要性を十分に理解しないままの参加であったため、想いを言葉にできず、二泊三日の合宿を逃亡しリタイア。それから3年、事業も順調に拡大し社員数も増加。先輩社員が新人を教育していく中で、これまで自分が大切にしてきた想いが伝わっていかないことを痛感。また新卒で入社した社員の将来を背負う覚悟から、彼らの将来を支える会社の未来を明確に描く必要があると実感。自分の想いを言葉にする経営指針の必要性を改めて感じ、3年越しの成文化セミナーに参加、目的意識をもって成文化に取り組むようになった。

■経営理念の成文化後

目的を持って成文化したものの、まだその言葉がすっかりこず、成文化から社内発表まで1年以上を要した。しかし、先輩経営者からの「成文化した言葉が大切なのではない。その言葉について社員とどれだけ対話し深めるかが大切。」という言葉聞き、発表を行った。『旨いウナギってどんなの？』『ココロがHappyな状態ってど

んなの？』『職人ってどんなイメージ？』ミッションやバリューにある言葉について対話し、社員とともにミッションやバリューの理解を深めていった。それまでは「焼き方」や「売り方」などの手法ばかりを指導していたが、対話を重ねることで、社員が自発的に「どうしたら旨いウナギが焼けるのか」を考えて行動するようになった。

■これからの夢・抱負

社員に夢を持ってもらいたい。社員が夢を描くようになったら、その夢を実現できる手段を用意したい。多店舗展開も、その手段の1つかかもしれない。

